

卓話

ブラジル人について

西岡昌彦 会員

成功と定住化 日本人移民が運営する農園から逃亡した多くの日本人移民は、自らの農地を取得し自作農となることを選択し、日本人移民同士で共同農地を取得し、集団入植地や農業組合を形成するようになり、1919年には、初の日系農業組合として、ミナスジェライス州に「日伯産業組合」が設立された。ただし多くの日系移民はサンパウロ州、パラナ州に居住しており、ミナスジェライス州には少ない。このような傾向はその後増加し「コチア産業組合」(サンパウロ)など、その後ブラジルの農業の振興に大きな役割を果たす農業組合が多数出来てゆくこととなる。



その後多くの日本人移民が自作農として独立、成功し、コーヒー価格の暴落を受けて綿や胡椒、茶やジャガイモなどへの転換を進めるものや、サンパウロを中心に日本人移民向けの各種商店や工場、医師を開業する者が現れた。胡椒農家の成功は特筆に価する。サンパウロ州で始まったが、後にアマゾン川に近い北部のパラー州で大成功を収めた。

当時の農学の常識では、モンスーンが吹かないブラジルでの茶の栽培は不可能とされていたにもかかわらず、奇跡とも思える紅茶栽培に成功を果たしたサンパウロ州のオカモト農園は、ブラジル政府から表彰された。ブラジル一般国民にはあまり知られていないが(ブラジル人の多くは普段紅茶を飲まない)、ブラジルは紅茶の大生産国であり、そのほとんどが一般消費用としてイギリスに輸出されている。その後これらの多くは日本人移民、日系ブラジル人だけでなく、旧来在住の非日系ブラジル人向けにその商圏を広めていくこととなった。

なお、ジャガイモやレタス、トマトやにんにくなどの、現在ブラジルで栽培されている野菜や果物などの農産物の多くは、農作物の転換を進めた日本人移民がブラジルへ持ち込み、品種改良などを通じてブラジルの赤土での栽培に成功したものである。多くのブラジル人は二十世紀末に移入されたキウイを日本起源の果物と認識しているが、この都市伝説はブラジルでの日系移民の貢献がいかに大きかったかを物語っている。

日本人移民の子弟や、現地で出生した日本人移民2世の教育の必要性が出てきたことから、1915年には、当時日本人移民が多く集まっていたサンパウロ市内のコンデ・デ・サルゼーダス街に、ブラジル初の日本人学校である「大正小学校」が設立された。その後各地に「日語学校」が設立された。これらの学校は公立学校と競合するものではなく、日本語および日本文化の塾のような性格であった。ただし、公立学校のなかった奥地(当時は珍しくなかった)では一般学校の代用もした。

移民の増加 海外興行株式会社による広告。「一家をあげて」とあるが、これはブラジル側が定住労働力確保を目的としていたため、基本的に、働き手が3人以上いる家族にしか移住の許可を与えていなかったことに関連している日本人移民が運営する茶畑1914年にサンパウロ州政府は「経済悪化」と「移民の定着率の悪さ」を理由に日本人移民への補助の一時中断を表明し、増加を続けていたブラジルへの移民は中断されることとなった。しかし同年に第一次世界大戦が勃発し、主戦場となったヨーロッパからの移民が止まったため、1917年に日本人移民の受け入れを再開した。また、これまでは移民の送り出しを数社の小規模な民間企業が行っていたが、日本人移民の再開を受けて同年に日本政府は「海外興業株式会社」を設立し、ブラジルへの移民の送り出し窓口を一本化した。第一次世界大戦による特需のために、日本国内における雇用の活発化のため一時的に移民希望者が減少した。しかし、それまで最大の日本人移民の受入国であったアメリカが、日本人移民や日系アメリカ人に対する人種差別の激化と、それに伴う黄禍論の勃興などにより日本人移民の受け入れを実質禁止したこともあり、日本政府は国策としてブラジルへの移民を推奨するようになり、移民希望者に対する渡航費の全額補助などの施策を打ち出した。これを受けて1920年代後半にはブラジルが最大の日本移民受入国となった。

ニコニコ箱

2013年2月21日 第1130回

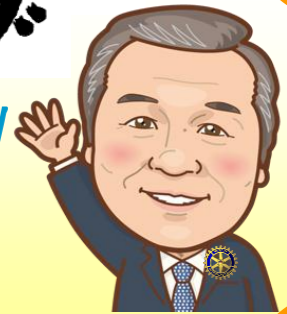
- 上西保 西岡昌彦会員本日素晴らしい卓話ありがとうございました。まだまだ寒さ厳しいので皆様お体ご自愛ください。
- 増井敏男 西岡昌彦様、卓話ご苦勞様です。
- 青木善政 新役員の皆様いよいよ心の準備頼みます。現役員の皆さんまだまだこれからです。頑張ってください。
- 奥村展三 メンバーの友情に感謝。青木先生、いろいろとお世話になりありがとうございます。寒さ厳しい折メンバーのご健勝をお祈り申し上げます。
- 富田喜義 西岡さん卓話ありがとうございました。
- 中川三夫 西岡昌彦君卓話ご苦勞様です。
- 辻孝範 西岡昌彦さん卓話ありがとうございました。寒い日が続きますが春はもうすぐそこまで来ます。
- 竹若豪 奥村前文科省副大臣、元気なお顔を見て安心いたしました。新たな前進に向かって頑張ってください。西岡君卓話ご苦勞様です。
- 桑名宏幸 そうたいごめん。
- 上西宗市 南義彦様、本日はようこそ！次年度周年の懇親会よろしくお願ひ致します。西岡さん卓話ご苦勞様でした。
- 徳島りつ子 南さんようこそ!!西岡さん卓話お疲れ様です。とても興味のあるお話でした。ありがとうございます。
- 西岡昌彦 下手な卓話を聞いていただきましてありがとうございます。
- 澤田淳 先日うちの長男が無事関西大学に合格しました。巣立っていくわが子に嬉しくもあり淋しくもある今日この頃です。西岡さん卓話ご苦勞様でした。
- 平松隆一 西岡さん卓話ありがとうございました。
- 南啓次郎 3月10日京都マラソンを走ります。頑張ります。
- 近藤和彦 西岡さん卓話ありがとうございました。

本日合計 45,000円 累計 1,594,000円

湖南ロータリークラブ



愛・優しさと思いやり
第24期 会長 上西保



RI会長 田中作次 地区ガバナー 河本英典

2012-2013 WEEKLY BULLETIN

例会プログラム

- 2月28日第1131回
- 12:30 開会点鐘
- ロータリーソング
- 四つのテスト
- 2月の歌「なごり雪」
- お客様紹介
- 食事歓談
- 12:55 会長の時間
- 幹事報告
- 委員会・同好会報告
- 卓話 中澤実任盛会員
- 13:25 ニコニコ報告
- 出席報告
- 13:30 閉会点鐘
- 次回例会 卓話 澤田淳 会員

出席報告

例会名	第1128回	第1130回
例会日	2月7日	2月21日
会員数	36名	36名
当日出席	22名	21名
事前	0名	4名
事後	5名	名
出席免除	6名	4名
出席率	91.67%	80.56%

会長の時間

皆さんこんにちは。日ごとに暖かく、春らしくなってきました。いよいよゴルフシーズン到来。ゴルフがしたくなる素晴らしい気候を迎えようとしております。先日、ホールインワンを達成されました石田晃朗PPが3月1日に琵琶湖カントリークラブにおいて、記念ゴルフコンペを開催されます。ゴルファーにとっては、いつかはホールインワンをやりたいと強い思いがあります。そのような幸運を私にもお分け頂ければと思っています。当日は当ロータリーメンバーも多数お祝いに駆けつけさせて頂き、楽しい一日を参加された方と共有させていただきたいと思っております。皆様よろしくお祈りいたします。

会長 上西 保



さて、国のほうでは環太平洋連携協定(TPP)参加に向け、各国お互いの国益に対しての主張をやっておりますが、日本もしっかり交渉を行ってほしいと願っています。その中でもあれもこれも保護をするというような話を通る訳がないので、日本の国益上、一番大切なものは譲らない姿勢を最後まで貫いて頂けるような交渉を是非期待しています。価格の高い安いは消費者が選択するものであり、食品では輸入の対しても安全安心なものが第一です。そして、中小企業の切り捨てではないですが、小さな規模でしかない強みに、価値観をどのように出してやっていくかなど、時代の流れに敏感にしなければ生き残れない時代が訪れたような気がします。

幹事報告

幹事 増井敏男

1. 本日例会は中澤実任盛会員の卓話です。
2. 次週例会は澤田淳会員の卓話です。
3. 次週例会終了後理事役員会を開催いたします。
4. 3月2日(土)第1回合同地区委員会(京都ホテルオークラ)に長谷川委員と石原委員出席です。
5. 3月3日(日)13:00～16:00京都テルサにて地区職業奉仕「講演会」ご出席予定の皆様よろしくお願ひ致します。



お客様



栗東RCより 南義彦様
ようこそ湖南RCへ!!

例会変更

例会日	クラブ名	ビジター受付
3月11日 月	長浜	平常通り
3月12日 火	水口	平常通り
3月20日 水	大津東	無し
3月21日 木	びわ湖八幡	平常通り
3月25日 月	五個荘能登川	平常通り
3月29日 金	東近江	クラブ事務局

第24期理事役員

会長	上西保	副会長	野村哲哉	S.A.A	富田喜義	職業奉仕	辻孝範
直前会長	井島均	幹事	増井敏男	会員組織広報	川北清満	社会奉仕	上西宗市
会長エレクト	甲斐切絵	会計	山本善通	奉仕プロジェクト	奥村増一	国際奉仕	大角道雄
						新世代	長谷平官